

2. 区会移管に伴う運営補助費の配分方法の改定

区会運営補助費の運営上の諸問題を解消するため、運営補助費の配分方法をつぎのとおり改定する。

- 1) 一律支給を改定する。100人以上の区は活動状況を考慮して配分する。各区より予算を申請する。
- 2) 使途科目に総会費用、親睦会費用を追加する。
- 3) 本部、部会活動を区会活動に移管し、新たに区会活動として活動するグループに運営補助費を支給する。
- 4) 改定ではないが、区会では出来るだけ県、市の助成金を申請し、その助成金を活動費に充当することとする。

区会の再編成と活性化への環境整備

1. 区会再編成の必要性

区の「登録会員数」と区会運営を担う「運営委員の陣容(人材規模)」はほぼ比例する。区会員の少ない区ほど、区会として標準的に求められる役割や活動が他の区と比べ、対応する運営委員の負担が大きい。(本部で企画され等しく導入を求められる「会員相互扶助制度の実施問題」がこの問題の深刻さを物語っている。)

「区会員の少ない区は他の少ない近隣区と合併するなど会員の人数規模がほぼ均一化する方向で区会再編成する」のが区会活性化推進に有効ではないか。

区会再編成案

東灘・灘	133名	須磨区	185名
中央・兵庫・長田	162名	垂水区	161名
北区北部	182名	西区	151名
北区南部	182名		

2. 再編成実施にあたっての課題

① 再編成の妥当性検証

各合併区、分割区それぞれが持つ特殊事情(阻害要因)や本部事務局の事務処理面への影響などを十分検証する。

② 関係者への周知徹底

③ 円滑な移行体制づくり

円滑な移行のため準備委員会設置、移行要領、

移行スケジュールを検討する。

3. 活性化に向けた環境整備の推進

組織の活性化にはそのための「環境整備」は必須条件である。わ 挙げて以下の施策に積極的に取り組み、活性化に向けた環境整備を推進する必要がある。

1) 優秀な人材の確保と育成

ボランティア団体・NPOの最大の資産は「人」であり、優秀な人材をどれだけ集められるかによって団体の水準が決まる。

2) ボランティアへの参加の場を提供すること

わ の本部が地区と一緒にって神戸市・区役所・区社会福祉協議会・ふれあいの街づくり協議会・老人会・婦人会などを積極的に訪問して働く場所を確保する。

3) 参加意欲の向上

表彰制度を設け、個々の活動実績を評価して、個人又は団体を運営委員会などで表彰する。また情報ギャラリーなどへ掲載して紹介する必要がある。

4) 区会の合同会議

適宜、区会の合同会議を持ち、相互の情報交換会を行う。その会議でボランティアの活動実績、又は新規開拓など、参考になる議題を提供し合い相互研鑽する。

5) ボランティアに関する研修

ボランティアの基本など、積極的に研鑽に努める。

6) 区会の連絡網の整備

活動の活性化には会員相互の緊密な意思の疎通が欠かせない。ブロック運営の推進(広域な区など) 区会会員の連絡網の整備は特に重要である。

こどもの健全育成に係わる地域ぐるみの取り組み対応

1. 市内各小学校への学校支援・学習支援の現状

市内各小学校・特別支援学校(以下各小学校という)に対して、次の各組織が組織だった連携がないまま思い思いに支援活動を展開している。

2. 学習支援・学校支援活動面の課題

次頁の表に示すように、わ 本部、わ 区会、カレッジ間には活動面で相互連携がなく、夫々がバラバラに活動している。

- 1) わ では、本部主導で学習支援事業が実施されているが、地域ぐるみで実施すべき学校支援活動の領域は各区会会員の自主的活動に任せ